

第4回グローバルカフェ開催の様子

12月15日(日) 16:30~18:30



令和元年度の第4回グローバルカフェは「クリスマス」をテーマに実施しました。留学生は、タイ、ウクライナ、スウェーデン、台湾からの計4名に参加していただき、出身国のクリスマスの様子を紹介していただきました。



スウェーデンではクリスマスになると、テレビで夜通しドナルドダックの映画が放送され、子どもたちは夜更かしをして見るそうです。「クリスマスといえばドナルドダック」という面白いお話をお聞きしました。



留学生のお話のあとは、簡単な英語を使ってのゲーム「数字当てゲーム」を行いました。1人が自分にまつわる数字を1つ言い、それは何の数かを当てるゲームです。
(兄弟の数や、今までに何かを経験した数など)



参加者に人気の「フリートークタイム」は、今回もたっぷり時間を取り、留学生にローテーションをしていただきました。クリスマスということで、いろいろなお菓子が3回も追加で出てきたので、参加者は大喜びでした。



今回の「グローバルに活躍している方」のお話は、一橋大学社会学部4年の魚住あかりさんに、アメリカ・オレゴン州のオレゴン大学に留学されたときの体験談をお話いただきました。魚住さんは、宗教社会学を学ぶために留学し、様々な宗教と人々に関わったそうです。とてもフレンドリーで温かく迎えてもらい、宗教の作るコミュニケーションの力も学べ、とても有意義な経験となったそうです。



また、アメリカンフットボールのとても強い大学だったので、試合が開催される時のエンターテインメント性の大きさを楽しむことができたり、各国からの留学生と交流を持ったりと、留学生生活を満喫されたようです。魚住さんは、「聞く・話す・読む・書くは、留学を通してそれぞれ上達はしたが、話すことは一番難しい。でも、一番大切なことはイントネーションなどを気にせずどんどん話すことが大事。」と教えてくださいました。